

人口戦略と「共育社会」の推進に向けて

— 人口戦略会議アピール —

令和6年4月24日
人口戦略会議

本日の「人口戦略シンポジウム」は、岸田文雄総理をはじめ、政治、経済・労働界、地方自治体、有識者など約500名におよぶ各界のリーダーの方々の参加を得て開催されました。人口減少問題および人口戦略について多角的な議論が活発に行われ、まさに「人口戦略元年」にふさわしい会議となりました。参加者をはじめ関係者の皆様の多大なるご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

今日、我が国は、急激な人口減少という、かつて経験したことがない時代を迎えています。このまま推移するならば、日本の将来に深刻な影響が及ぶことは避けられません。少子化の流れを変えることは困難かつ長期にわたる課題ですが、私たちは決して諦めるわけにはいきません。子どもや孫の世代に豊かで幸せな社会をつなげていく責任が、今を生きる私たち「現世代」にあるからです。

私たちが目指すのは、人口減少という事態を国民一人ひとりが自分事として認識し、「人口戦略」として社会経済全般にわたる改革を進め、結婚や子どもを持つことを希望する人がその希望を実現できる社会です。基本となるのは、子育てを母親一人が担うのではなく、父親はもちろん家族や地域が共同して参加する「共同養育」の考え方です。そうした社会を、私たちは「共育(ともいく)社会」と名付けたいと思います。

私たちは、人口戦略と「共育社会」の推進に向けて、同志の輪をひろげ、政府、企業、地域、そして国民が意識を共有しながら取り組んでいくことに努めてまいります。本日お集まりの皆様をはじめ、広く各界の皆様のご賛同とご支援を、心からお願い申し上げます。

「雪とけて村いっぱいの子どもかな」(小林一茶)